

平成26年度 事業計画案一覧

種別	No	事業名	新・継 (年数)	事業種類 1	事業種類2	事業のねらい	主な活動内容	期 間	対 象	募集 人数 (人)	連 携
プログラム開発事業	1	海の冒険シリーズ① キッズ海のたんけんたい	4	教育事業	プログラム開発事業	・若狭湾の自然の中での体験活動を通して、意欲の向上や自主・自律の精神を養いながら、意欲の向上と人間関係の育成を目指す。 ・発達段階に応じた海プログラムの組み立て手法や安全管理手法を確立し、他施設での活用役に立てる。	①スノーケリング、キャンプファイヤー	平成26年7月19日(土)～7月20日(日)	小学1・2・3年生	①20	
	2	海の冒険シリーズ② 若狭湾 海の自然学校					②スノーケリング・シーカヤック・野外炊事・テント泊・海中釣り・ハイキング	②平成26年8月17日(日)～8月23日(土)(6泊7日)	①小学4・5・6年生	②16	
	3	海の冒険シリーズ③ 自然学校同窓会					③室内スポーツ・保護者との語らい・思い出クラフト	③平成26年2月7日(土)～2月8日(日)(1泊2日)	②参加者と保護者	③40	
	4	若狭の自然の中で (不登校児童生徒支援事業) ～東海市との連携～	5	教育事業	プログラム開発事業	・課題を抱える児童・生徒が、若狭湾の雄大な自然の中で心身をリフレッシュするとともに、参加者同士や参加者とボランティアの交流を図り、チャレンジしようとする意欲を高める。 ・課題を抱える児童・生徒が自然体験活動を通して、より良い効果を得られるようなプログラム開発を行い、近隣青少年教育施設・教育委員会・学校等にプログラムの提供及び発信をしていく。	浜遊び・夕日観察・磯観察・グラスボート・シーカヤック・カッター・磯釣り・スノーケリング	平成26年9月13日(土)～9月15日(月)(2泊3日)	小学生・中学生	15	愛知県東海市教育委員会
	5	中部・北陸ブロック 次長プロジェクト 「課題を抱える子どもの体験活動に関する調査研究」	5	教育事業	プログラム開発事業	・5教育拠点で行う「課題を抱える子どもの体験活動に関する調査研究」事業を対象に、青少年の各年齢期における体験活動において「人間関係能力を高める教育プログラム」を開発する。体験活動の効果を測定する検証方法を確立し、その教育プログラムの有効性を検証する。		通年	対象事業への参加者		
	6	海の活動が子どもたちに与える教育的効果に関する研究	6	教育事業	プログラム開発事業	・海の活動が青少年の体験活動においてどのような教育的効果をもたらすのかについて調査し、より効果を高める海の活動プログラムを開発する。 ・検証結果については水辺活動実施施設に発信し、活用されることをねらう。		通年	直接指導の参加者		
国際交流事業	7	海は人をつなぐ (自韓環境交流事業) ～KIZUNA～	5	教育事業	国際交流事業	・韓国学生と日本の学生・市民がディスカッション、フィールドワーク、文化紹介等を通して環境問題と互いの文化についての理解を深める。フィールドワークは日本海沿岸を北上しながら、対馬海流によって大陸から流されてきた漂着ゴミの回収を中心とした海浜清掃作業を各地に行う。 ・交流を通して、日韓のそれぞれの文化や歴史について見聞を深めるとともに、次世代リーダーの育成を目指しながら交流の輪を広げる機会とする。	バスで日本海沿岸を移動、各所で交流及び海岸清掃、小・中学校及び大学での交流・伝統文化体験	受け入れ ①案平成26年6月20日(金)～22日(日) ②案平成26年6月27日(金)～29日(日)(2泊3日)	学生・社会人	30	南ソウル大学
指導者養成事業	8	ボランティア養成セミナー	13	教育事業	指導者養成研修事業	・青少年野外教育施設等でのボランティア活動の役割について理解を深めるとともに、ボランティア活動に対する意欲を高める。また、当施設でのボランティア活動に必要な知識や技能を習得する。 ・ボランティアに必要な知識や技能、ボランティア養成に関わる研修会のノウハウについて、公立施設等に発信していく。 ・公立施設でも活躍できるボランティアの育成を目指す。	青少年の理解・体験学習法・ボランティアの意義・救命救急法・シーカヤック・ボランティアの理解・施設の現状・野外炊飯	平成26年5月3日(土)～5月5日(月)(2泊3日)	高校生・高等専門学校生・専修学校生・大学生・社会人	30	福井県青少年教育施設協議会
	9	自然体験活動教員養成研修会	2	教育事業	指導者養成研修事業	・学校の実施する自然体験活動において、教育効果の高い自然体験・生活体験活動の機会を提供するために、プログラム計画立案、活動時の全体指導を行う教員を養成する。 ・自然体験活動指導に必要な知識や技能、及び研修会や活動の様子把握と助言、事業評価等のノウハウについて、公立施設等に発信していく。	学校における体験活動の意義・教育課程と体験活動の関連性・救命救急法・自然体験活動の意義(シーカヤック)・安全管理・体験活動の指導法・プログラムの企画立案	平成26年7月31日(木)～8月1日(金)(1泊2日)	教員	20	
	10	教員免許状更新講習	新規	教育事業	指導者養成研修事業	・学習指導要領と体験活動の関わりを理解するとともに、実際の自然体験活動を通じて安全に配慮した指導方法を体得し、体験活動の意義や効果を理解する。	青年期における自然体験活動の現代的意義 シーカヤック、スノーケリング実習	平成26年10月25日(土)～10月26日(日)(1泊2日)	幼稚園、小学校、中学校、高等学校教諭	20	福井大学
普及啓発事業	11	漁家体験シリーズ ～食文化の伝承～ ①へしこ作り	10	教育事業	普及啓発事業	・若狭地方の伝統的スローフードを通して食文化についての理解を深めるとともに、地元ならではの食文化の大切さを発見する。 ・漁家の生活体験及び交流を図る。 ・他施設との連携を図るとともに、地域等との合同事業を想定したプログラムの企画・運営のノウハウを発信する。	①漁家での鯖へしこ作り・磯釣り体験	②平成26年4月19日(土)～4月20日(日)(1泊2日)	子どもを含む家族 その他希望者	各40	田島観光協会
	12	漁家体験シリーズ ～食文化の伝承～ ②なれずし作り					②漁家での鯖なれずし作り・磯釣り体験	②平成26年11月1日(土)～11月2日(日)(1泊2日)			

種別	No	事業名	新・継 (年数)	事業種類 1	事業種類2	事業のねらい	主な活動内容	期 間	対 象	募集 人数 (人)	連 携
普及啓発事業	13	わくわく体験塾 ～来て 見て 感じて 若狭の香り～(仮 題)	14	教育事業	普及啓発事業	・若狭地域の歴史・文化等を知り、そのすばらしさに気づく。 ・海の活動を通して、海のすばらしさや環境について学ぶ。 ・近隣の施設の特徴を生かしながら、若狭地域における魅力的なプログラムを構築する。 ・近隣施設を通して、連携先の拡充を図っていく。 ・ボランティア交流を図り、地元のジュニアリーダーの育成をする。	土笛作り・火おこし・カッター・夕日観察・ カッター・海釣り・星空観察・キャンプファイ ヤー・勾玉作り	平成26年10月11日(土) ～10月13日(月)	小学4年生～中学生	25	福井県立若狭歴史民俗資料館 福井県海浜自然センター 福井県立三方青年の家 若狭三方縄文博物館
	14	自然体験活動プログラム訪問 相談会～京都市立の小学校を 中心に～ <継続>	3	教育事業	普及啓発事業	・学校教育につなげる体験学習法のポイントを発信する。 ・長期宿泊体験学習に有効なプログラミングの情報交換を行い、ポイントのアドバイスをを行う。	・当所の活動に関する説明、プログラム立 案に関する支援ほか	平成27年2月上旬～4月上旬	京都市内の学校で、当所でH26年度実施予定 または実施を考えている学校の教員等	約 10 校	京都市校長会
子どもゆめ基金体験の風 リレーションシップ事業	15	かがく体験in自然の家	2	その他の 事業	子どもゆめ基金体験の風 リレーションシップ事業	・本施設や他施設の科学体験活動を通して、その活動の魅力伝える。 ・科学体験を通して、家族や仲間との交流を深める。	科学実験、クラフト工作などの交流	平成26年4月27日(日) (日帰り)	保育園児、幼稚園児、小学生、中学生とその家 族	100	国立舞鶴工業高等専門学校
	16	若狭湾フェスティバル	6	その他の 事業	子どもゆめ基金体験の風 リレーションシップ事業	・当施設の職員が指導や支援に直接関わることにより、参加する家族が青少年教育施設での活 動や生活を体験し理解する機会を提供する。 ・若狭湾での海や山、室内の活動プログラムに家族で取り組むことにより、家族の相互理解や絆 を深めるとともに、家族同士の交流を図る機会を提供する。 ・日程や家族プログラムの大枠を予め当施設が作成することにより、研修支援事業での家族利 用の新しい方法について試行し、今後の活動に活かす。	ボート・カヌー・スノーケリング・シーカヤッ ク・磯釣り・磯鍋・遊びリンピック・読み聞 かせ・各種クラフトほか	平成26年10月4日(土) ～10月5日(日) (1泊2日)	家族	300	国立青少年教育振興機構 中部北陸ブロック5施設
	17	若狭湾のトビーな1日 ～シーカヤック・スノーケリ ング・体験～	新規	その他の 事業	子どもゆめ基金体験の風 リレーションシップ事業	・当施設の職員が指導や支援に直接関わることにより、参加する家族が青少年教育施設での活 動や生活を体験し理解する機会を提供する。	シーカヤック・スノーケリング体験	平成26年9月27日(土) (日帰り)	家族	100	
	18	われらトビーの大家族	6	その他の 事業	子どもゆめ基金体験の風 リレーションシップ事業	・親子で体操等の活動をする事により、健康増進と親子関係の向上を図る。 ・春の若狭湾の自然のすばらしさと当所のアクティビティの魅力伝える。 ・教育事業及びび活動プログラム等の運営ノウハウについて近隣青少年教育施設との交流を し、活用連携を行う。・音楽を通して家族や仲間との交流を深め、仲間の大切さを知る。	親子体操・ミニコンサート・人形劇ほか	平成27年3月7日(土) ～3月8日(日) (1泊2日)	家族	300	
利用促進事業	19	国立若狭湾青少年自然の家所 長杯 親善ゲートボール大会	10	その他の 事業	利用促進事業	・ゲートボールをとおして、若狭湾地域住民の親睦を図り、更に地域の活性化、発展に寄与す ることを目的とする。 ・小浜市、若狭町、美浜町など近隣のゲートボール協会との連携・ネットワーク作りにも努め、幅広 い利用拡大を目指す。	ゲートボール大会	平成27年1月上旬 ～3月上旬	小浜市、若狭町、美浜町に在住のゲートボール チーム	40 チ ーム	